

試料・情報利用研究計画書(概要)					
審査委員会 受付番号	2020-1015	利用形態	共同研究	利用する 試料・情報	対象:メタボローム解析済みのコホート調査参加者 約5,000人 試料:なし 情報:基本情報(年齢、性別、身長、体重、BMI)、腎機能、肝機能、喫煙歴、飲酒歴、基礎疾患の有無及び疾患名・重症度、内服薬、ゲノム配列情報、オミックス情報
主たる研究機関	新潟大学医歯学総合研究科			分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構
研究題目	老化関連代謝物質及びその制御機構の検討(回顧的観察研究)			研究期間	2020年9月～2025年3月
実施責任者	清水 逸平	所属	新潟大学医歯学総合研究科		職位 特任准教授
研究目的と意義	老化に伴い血液中で増加する代謝物質の探索、及び遺伝的背景(ゲノム)の検討を、東北メディカル・メガバンク計画で既に取得されているメタボロームデータやゲノムデータを用いて行う。そして加齢及び加齢性疾患における老化促進代謝物質の病的意義と制御機構を明らかにし、心不全やサルコペニア、肥満や糖尿病といった加齢性疾患に対する次世代の治療法の開発に挑む。				
研究計画概要	老化に伴い血液中で発現が上昇し、老化形質を促進する代謝物質(老化促進代謝物質(Senometabolite))を、東北メディカル・メガバンク機構で取得されているメタボロームデータから探索する。またゲノムワイドの遺伝子情報のある参加者について、老化変動代謝物質濃度に関連した遺伝子の同定を目指す。				
期待される成果	老化に伴う病的側面が代謝物質により促進する、という仮説を検証することで老化に伴う病的な側面及び加齢性疾患に対する新たな治療アプローチにつながるものとする。				
これまでの倫理 審査等の経過	2020年6月 新潟大学倫理委員会承認 2020年9月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	ヒトを対象とする医学系研究の倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理指針の他、別途締結する研究契約を遵守して研究を遂行する。 試料・情報は、東北メディカル・メガバンク機構から新潟大学へHDD等の媒体によって提供され、ネットワークから切り離されたコンピューターのハードディスク内に保存する。				
その他特記事項	委託研究費(AMED 老化メカニズムの解明・制御プロジェクト)				
* 公開日	令和2年10月21日				